

## 支援事例 ケース2

### 相談者

千葉県在住 20代 単身男性 会社員 2009年11月から入居

### 【相談内容】

1年前から夫婦仲が悪化し、別居して妻子に養育費を毎月送金するようになってから、自身の生活環境が一変してしまったご相談者。給与として毎月20万円前後の手取り収入があるものの、養育費を送金し、家賃や光熱費等諸々を支払うと、所持金が1~2万円程度しか残らない状況になった模様です。最初は食費を削って生活していたようですが、次第に養育費や家賃の支払いが遅れ始め、ついには**来月からの家賃の支払いの目処が立たなくて困っている**とのご相談を受けました。

### 【対応内容】

最初、携帯電話の利用代金を減らすことと、現在の家賃(75,000円)の半分以下の部屋に住替することをご提案いたしましたが、契約金や引越費用等が捻出できない為に、住替は難しいとのご回答でした。翌日に家賃総額35,000円、初期費用10万円未満の物件が見つかったので、来月お立替が発生する家賃の分割返済を前提条件に住替を再度ご提案いたしました。お引越費用は、相談員が搬出・搬入を手伝うことで、費用をかけずに自分たちで引越することも告げると、ご相談者も住替を承諾され、ご転居することとなりました。

### 【入居者様の声】

一旦は躊躇して「考えます」と返答しましたが、その後自分なりにいろいろと考えた結果、相談員の提案を受け入れようと決心し、転居を承諾しました。週末に紹介された物件を下見し、転居を決心してから2週間程度で引越が完了しました。別居後間もなく離婚し、生活が日増しに困窮していることを両親や友人達に相談することができず、このまま破綻していく自分が不安でしようがなかったです。今では若干ですが生活にも少し余裕ができるようにまでなり、**あの時相談して本当によかった**と、相談員の方には感謝しています。